

田村市地域おこし協力隊 くまがいゆうき 熊谷優希さんに委嘱状交付

8月30日、市役所で田村市地域おこし協力隊（地域振興型）の委嘱状交付式が行われ、熊谷優希さんが就任しました。

田村市地域おこし協力隊（地域振興型）は、テラス石森を拠点に、空き家に関する相談をはじめ、移住・定住の推進、地域産品の磨き上げや田村市の魅力発信を中心に幅広く活動しています。熊谷さんは地域資源や観光資源を生かした移住推進に取り組みたいと今後の意気込みを語り、白石市長からは、田村市の埋もれている良い部分を見つけ、磨き上げてほしいとエールを送りました。



▲左から、副市長、協力隊を運営する（一社）Switchの久保田代表、熊谷さん、市長、総務部長

F2 サミット 中学生が未来の「ふくしま」を考え、熱い議論を交わす

8月8・9日「令和4年度 Fukushima Future サミット（F2 サミット）」が市役所で開かれ、市内の中学生17人とふくしま12市町村、小野町、ふたば未来学園中学校の代表12人の生徒が参加しました。大越町出身で三菱商事に勤務されている大橋俊則さんがコーディネーターを務め「2050年の『ふくしま』は？～自分にできることを～」をテーマに話し合いを進めました。市外の生徒とはオンラインでの話し合いとなりましたが、画面越しに熱心に意見を交わす姿が見られました。



教育講演会 令和4年度田村市教育講演会

8月23日、市文化センターで市内の小・中学校、幼稚園等の教職員を対象とした教育講演会が開かれました。

講師に国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 学力調査官 稲垣悦子さんと同じく清水友晶さんをお招きし、演題を「全国学力・学習状況調査を踏まえた学習指導の改善・充実」としてご講演いただきました。

稲垣調査官からは算数・数学の、清水調査官からは英語の授業づくりについてお話いただきました。小中学校では、今回の講演を参考に授業のさらなる充実に努めていきます。



ツリークライミング 自然と触れ合い、樹上からの景色を満喫

8月28日、ツリークライミング®体験会が片曾根山森林公園で開かれ、小学生や保護者ら21人が参加しました。参加者はツリークライミング®クラブどんぐりの芽のインストラクターに指導を受けながら、高さ15メートルの木に掛けられたロープを使って、少しずつ上を目指しました。当日はあいにくの雨でしたが、参加者の楽しそうな声が森に響きました。

※本事業は、福島県森林環境交付金事業の一環で実施しました。



百歳賀寿 未永くお元気で

●佐久間 静子さん（写真上）

常葉町堀田の佐久間静子さんが、8月21日に満百歳を迎えられました。

裁縫がとても得意で、97歳頃までミシンを使い、身の回りのものは何でも手作りしていたそうです。長寿の秘訣は「自分のことは自分でやるよう心掛けてきたこと」と話されました。

賀寿贈呈式は自宅で行われ、福島県、田村市、田村市社会福祉協議会から賀寿や祝い金などが贈られました。



●矢吹 トヨノさん（写真下）

常葉町常葉出身の矢吹トヨノさんが、9月15日に満百歳を迎えられました。

90歳まで「農業一筋」だったトヨノさんは、戦時中で男手がなかった10代の頃から家族のため、農業に励んできたそうです。「体を動かしてきたことが長寿の秘訣」と話されました。

賀寿贈呈式は市内の介護施設で行われ、福島県、田村市、田村市社会福祉協議会から賀寿や祝い金などが贈られました。



PR 販売会 東京で「田村の極」製品と田村市の魅力をPR

7月20～24日、「ふくしまプライド。」フェアが東京都イトーヨーカドーアリオ西新井店で開かれました。イベントには内堀県知事、菅野 JA 全農会長などが出席し、安定した流通、販路拡大のため、首都圏へ県産品の魅力をPRイベントを盛り上げました。田村市からは、みやこじスイーツゆいが都路たまごを使用した6次化商品「ゆいプリンリッチ」を販売しました。

また、来場者へ「田村の極」認定商品、市内観光スポットを紹介し、田村市の魅力をPRしました。



英語研修 サマーイングリッシュキャンプで中学生が英語に親しむ

7月16・17日の2日間、中学生を対象とした「サマーイングリッシュキャンプ」が市役所で開かれ、市内の中学生54人が参加しました。

1日目は英語指導助手（ATL）の先生方と一緒に「自己紹介ゲーム」や「マッチングゲーム」などを行いました。2日目は早稲田大学国際教養学部のサークル「セカクル」が準備した「英語4択クイズ」や「セカクルビンゴ」を行いました。生徒たちは、楽しみながら英語を使い活動することができました。

